

# お告げのマリア修道会



## まごころ会

2023年4月

Tel.095-846-8300



QRコードから  
アクセスして  
下さい

『わたしは主のはしためです。』

お言葉どおり、この身になりますように。』

### 主の復活

おめでと〜うございます！



2020年の復活祭から、3年の月日を経て、ようやく、主の復活を皆でともに祝うことができそうです。コロナ禍にあつて、思うように教会に集えない、聖体拝領ができない寂しさの中で、教会共同体の、そして、ご聖体の有難さをしみじみと感じ、考えさせられた3年間だったように思います。まだ、油断はできませんが、主が復活して、「世の終わりまでもに在る」と約束して下さったことをこれまで以上に喜びのうちに実感でききる復活祭になることでしょう。

私は、復活し、あなたとともにいる  
あなたは 私の上に 手をのべられた  
あなたの知恵は はかりがたい  
アレルヤ アレルヤ アレルヤ

(典礼聖歌集 345番)

### まごころ会会員帰天、お祈りください

- ・テレジア 下村ハルエ 94歳 桐教会
  - ・ヨハネ 前川昇一 67歳 紐差教会
  - ・マリア 石山 清子 55歳 三井楽教会
  - ・クララ 切江 トミ 93歳 青砂ヶ浦教会
- 会員帰天、お祈りください
- ・アグネス Sr. 今村キエ子 田平修道院



「総会からの新しい歩み」  
「私は、キリストを映していますか」

「霊的遺産を携えてともに沖へ漕ぎ出そう」  
このテーマを掲げた会期も3年目が始まり  
ました。3月25日で会憲改正から10年が経  
ちました。会憲は、私たちの生き方を指し示す大  
切なものです。

会憲改正が行われた翌年(2014年)、教皇フラ  
ンシスコは「奉献生活年」にあたり、すべての奉献  
生活者にこのように勧めました。

- ①感謝を持って過去を見ること
- ②熱意をもって今を生きること
- ③希望を持って未来に向かうこと

総会はこちらを祈りのうちに話し合い、神様が  
お告げのマリア修道会に託された望みを識別し、  
どのように生きるのかを探し求めます日々の生  
活の中では、忙しさのあまり、手段ばかりに目が  
行き、目的を忘れてしまうことがあります。

それを防ぐためにも、会員皆が同じ意向のた  
めに心を合わせて祈ることが助けになります。  
この日には本部でミサを捧げています。

- ①毎月第一月曜日  
召命のため・神学生・志願者のため
- ②毎月第一水曜日  
病人とお世話をされている方々のため
- ③毎月第一木曜日  
教皇様・司教様・すべての司祭のため
- ④毎月第一金曜日  
すべてのまごころ会員のため



また、初金曜日は、福音宣教のよき実りを願  
い、共同体全員でロザリオを捧げます。この慣習  
は、すでに40年余り続いています。共同体ごと  
に月に一度、静修の時を設けて、神様との語らいを  
深め、自分の生き方を振り返ります。

皆さまも共に祈りくださると幸いです。